

【 保健所用 】

	内容*	自己評価
健康危機管理（感染症、食中毒の発生、災害について想定モデルの元に対策の樹立を体験）		
一般目標（G I O）		
行政や地域の医療関係者が感染症や食中毒あるいは災害等の健康危機についてどの様に対応しているか、また対応すべきかについて実践を通じて知る。		
到達目標（SBOs）		
①感染症・食中毒の疫学の考え方と技法を説明できる。	見・実	
②健康危機管理について行政および地域医療機関の役割について説明できる。	見・実	
③健康危機管理プログラムの要件を書くことができる。	見・実	
④健康危機発生時における医師の役割を説明できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項（キーワード）

（項目は、保健所の事情に合わせて変更可能。事例がない場合はシミュレーションを実施。）

①感染症・食中毒発生時の疫学調査

非実施 シミュレーション 見学 実施 実施した場合の評価

--	--

②結核（排菌している患者等）が発生した時の接触者検診

非実施 シミュレーション 見学 実施

--	--

③新興感染症発生時対応訓練

非実施 シミュレーション 見学 実施

--	--

④災害対策にかかわる会議

非実施 シミュレーション 見学 実施

--	--

⑤過去における集団食中毒事例の疫学調査票の集計・解析

非実施 シミュレーション 見学 実施

--	--

⑥医療法に基づく医療機関への立ち入り検査、薬事法に基づく薬局の立ち入り検査

非実施 シミュレーション 見学 実施

--	--

⑦結核診査協議会

非実施 シミュレーション 見学 実施

--	--

⑧各種健診およびその判定会議等への参加

非実施 シミュレーション 見学 実施

--	--

【 保健所用 】

	内容*	自己評価
健康教育の企画, 立案, 実施, 解析, 評価		
一般目標 (G I O)		
健康教育を Plan-Do-See の実践を通じて体験し, 医師として地域の住民の健康教育を体験する。		
到達目標 (S B O s)		
①健康教育の考え方 (行動科学など) と技法 (住民・患者とのコミュニケーションスキル, 個別健康相談の要点など) を実践できる。	見・実	
②個人または集団の健康管理プログラムと健康教育プログラムを書くことができる。	見・実	
③個人または集団の健康教育に参画する。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項

①禁煙教育 (防煙・禁煙・分煙教育)

非実施 見学 実施

実施した場合の評価

--	--

②生活習慣病予防のための健康教育

非実施 見学 実施

--	--

③母親学級の指導

非実施 見学 実施

--	--

④老人保健法による健康相談

非実施 見学 実施

--	--

⑤検診結果説明会

非実施 見学 実施

--	--

⑥H I V抗体及び性感染症検査後の事後指導 (陰性者のみ)

非実施 見学 実施

--	--

⑦その他

非実施 見学 実施

--	--

【 地域・へき地 】

	内容*	自己評価
在宅高齢者の保健・医療・福祉・介護プログラムの作成と評価		
一般目標 (G I O)		
在宅寝たきり高齢者の健康管理の実際を体験し,在宅患者の保健指導や地域の保健医療・福祉機関との連携と健康管理のあり方を理解する。		
到達目標 (S B O s)		
①在宅寝たきり高齢者の健康管理の考え方と方略を説明できる。	見・実	
②在宅寝たきり高齢者の健康管理プログラムを立案することができる。	見・実	
③指導医の監督の下で地域における在宅寝たきり高齢者の健康管理に参画する。	見・実	
④健康管理プログラムの評価について討論できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項 (キーワード)

高齢者介護と地域医療

①家庭環境, 家庭内人間関係の把握

非実施 見学 実施

実施した場合の評価

--	--

②介護保険制度の現場における医師の役割

(例: 主治医の意見書の作成)

非実施 見学 実施

--	--

③介護認定審査会に出席 (傍聴) する

非実施 見学 実施

--	--

④ターミナルケア・在宅看取り

非実施 見学 実施

--	--

介護・福祉関係職種との協働

①かかりつけ医による介護ニーズ・介護資源の評価と活用

非実施 見学 実施

--	--

在宅医療・介護の実際の現場

①地域におけるチームアプローチ（保健・医療・福祉・介護の実際。徘徊，事故対応）

非実施 見学 実施

--	--

②医療サービスと介護サービスとの連携

非実施 見学 実施

--	--

③地域リハビリテーション

非実施 見学 実施

--	--

④高齢者のADL・IADLの評価

非実施 見学 実施

--	--

【 へき地 】

	内容※	自己評価
へき地保健医療計画		
一般目標（GIO）		
へき地保健医療活動に参加し、へき地中核病院、へき地診療所、へき地保健指導所、それぞれの役割、相互連携および活動の在り方を理解する。		
到達目標（SBOs）		
① へき地中核病院の機能と実際のへき地医療における活動について説明できる。	見・実	
② へき地における救急医療活動の特徴を説明できる。	見・実	
③ 離島における保健医療活動の特徴を説明できる。	見・実	
④ へき地保健医療情報システムの活用方法について説明できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項（キーワード）

① へき地保健指導の実施

非実施 見学 実施

実施した場合の評価

--	--

② へき地中核病院における医療活動

非実施 見学 実施

--	--

③ へき地救急医療活動への参加

非実施 見学 実施

--	--

④ 総合診療

非実施 見学 実施

--	--

【 地域・医師会・保健所 】

	内容※	自己評価
在宅難病*患者の管理プログラムの作成		
一般目標 (GIO)		
在宅難病患者の健康管理の現場を体験し、難病患者の保健指導や地域の保健所・福祉機関と健康管理のあり方を理解する。		
到達目標 (SBOs)		
①在宅難病患者の健康管理の考え方と方略を説明できる。	見・実	
②在宅難病患者の健康管理プログラムの立案に参画する。	見・実	
③指導医の監督下で地域における在宅難病患者の健康管理に参画する。	見・実	

*厚生労働省の指定難病、精神障害、その他の慢性疾患を含む（高齢者以外の在宅医療）

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項

①家庭訪問

非実施 見学 実施

実施した場合の評価

--	--

②検討会への参加

非実施 見学 実施

--	--

③家族会への参加

非実施 見学 実施

--	--

④特定疾患の種類を把握する

非実施 見学 実施

--	--

⑤障害年金（障害基礎年金と障害厚生年金）の仕組みと診断書の作成について学ぶ

非実施 見学 実施

--	--

【 高齢者保健福祉施設 】

	内容*	自己評価
高齢者保健施設, 福祉施設等における健康管理プログラム		
一般目標 (G I O)		
地域の保健・医療・福祉関係機関等との連携の中で, 高齢者特有の病態, 心理を把握し, 適切な対応ができるようになるために施設通所または入所高齢者の健康管理を体験する。		
到達目標 (S B O s)		
①地域における家庭環境, 家族関係を考慮し, 高齢者の療養環境の適否を説明できる。	見・実	
②施設通所または入所高齢者の健康管理の考え方と技法を説明できる。	見・実	
③保健・医療・福祉資源を活用して施設通所または入所高齢者の健康管理プログラムを作成することができる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項 (キーワード)

経験が望まれる事項

①施設における高齢者医療・介護 (例:褥創の予防・管理)

実施した場合の評価

非実施 見学 実施

--	--

②感染症対策 (例: MRSA, インフルエンザ, 結核, アタマジラミ感染症, 疥癬, B・C型肝炎)

非実施 見学 実施

--	--

③事故防止 (例: 転倒・転落)

非実施 見学 実施

--	--

④ 事例を通じた関係諸機関とのネットワーキング

(例: 紹介, 転医, 徘徊防止対策と処遇, グループホーム, ソーシャルワーク)

非実施 見学 実施

--	--

⑤ 施設リハビリテーション

非実施 見学 実施

--	--

⑥ 在宅復帰支援

非実施 見学 実施

--	--

⑦ 高齢者のADL・IADLの評価
非実施 見学 実施

--	--

⑧ 痴呆の評価
非実施 見学 実施

--	--

(以下のプログラムは取り組む場合の参考として掲載する。したがってコメントは参考程度で全てではありません)

案 2-3 地域保健・医療・評価票 一産業保健一 (指導医用)

【 事業場 】

	内容*	指導医 評 価
各職場における保健予防、管理（3管理）プログラム		
一般目標（GIO）		
1. 労働者の健康を守り、増進するために、その健康状態や職業に関連する健康影響因子について理解し、労働条件ならびに職場の実態にも配慮しつつ各種保健活動を実施する基本的な態度と能力を身に付ける。		
2. 職域を場として働く人に各種の保健活動を行うことの必要性を理解し、医療情報を総合的に判断し、働く人の心情や職場の状況なども勘案した指導を行う能力を身に付ける。		
3. 職業病・作業関連疾患に適切な対応が出来るようになるために、作業・作業環境および関連する疾患の特性を理解し、個々の状態に対応した基本的な指導法を身につける。		
到達目標（SBOs）		
1. 職域の健康管理について		
① 健康管理システムのあり方を理解し説明できる。	見・実	
② 健康診断計画に参画する。	見・実	
③ 個人の健康診断結果の評価を行い、精度管理を説明できる。	見・実	
④ 就業条件を考慮に入れた健康診断の事後措置案を作成できる。	見・実	
⑤ 集団の健康レベルの評価の方法を挙げることが出来る。	見・実	
⑥ 事業場内外の健康管理組織、健康診断機関の活動を説明できる。	見・実	
⑦ メンタルヘルスの意義と基本的技法を理解し、説明できる。	見・実	
⑧ 疾病管理と就労の配慮について説明できる。	見・実	
⑨ 労働災害、業務上疾病、労災保険について説明できる。	見・実	
⑩ 復職判定・適正配置を説明できる。	見・実	
2. 健康教育、健康増進及び総括的な管理		
① 個人の疾病予防、健康保持・増進のための健康教育に参画できる。	見・実	
② 職域での保健活動に必要な医療倫理を理解し、実践できる。	見・実	
③ 職場巡視を体験し、その意義を説明できる。	見・実	
④ 職域にある健康リスクを評価できる。	見・実	
⑤ 安全衛生委員会に参加し、衛生および安全に関して意見を述べられる。	見・実	
⑥ 産業医学に関する情報収集の方法を実践できる。	見・実	
⑦ 健康増進活動を理解し、実践できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

	内容*	指導医 評価
3.有害業務・安全衛生管理について		
① 就業条件、作業工程、作業内容について説明できる。	見・実	
② 有害業務を列挙し、その評価に参画する。	見・実	
③ 作業環境管理の意義を説明できる。	見・実	
④ 作業管理の意義を理解し参画する。	見・実	
⑤ 労働衛生保護具の目的と特性を説明し、装着作業を体験する。	見・実	
⑥ 職場環境と一般環境の違いを踏まえつつ、地域環境と住民の健康との関連を洞察できる。	見・実	
⑦ 災害時の救急措置を説明できる。	見・実	
⑧ 健康危機管理（採血事故・大規模災害・SARS等）の要点を説明できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項

① 職場巡視 実施した場合の評価
 非実施 見学 実施 —————↓

--	--

②安全衛生委員会への出席
 非実施 見学 実施 —————↓

--	--

③健診の実施（問診，診察，検査）
 非実施 見学 実施 —————↓

--	--

④健診結果の評価
 非実施 見学 実施 —————↓

--	--

⑤健診事後措置案の作成
 非実施 見学 実施 —————↓

--	--

⑥個人指導，集団指導
 非実施 見学 実施 —————↓

--	--

⑦健康危機管理対策マニュアルの作成
 非実施 見学 実施 —————↓

--	--

非実施 見学 実施

--	--

⑨倫理に関する概論・講義

非実施 見学 実施

--	--

⑩労働衛生教育

非実施 見学 実施

--	--

【 健診機関 】

	内容*	指導医 評価
各職場における保健予防、管理（3管理）プログラム		
一般目標（GIO）		
1. 労働者の健康を守り、増進するために、その健康状態や健康影響因子について理解し、職業に関連する種々の条件を考慮しつつ各種保健活動を実施する基本的な態度と能力を身に付ける。		
2. 職域を場として働く人に各種の保健活動を行うことの必要性を理解し、医療情報を総合的に判断し、働く人の心情や職場の状況なども勘案した指導を行う能力を身に付ける。		
到達目標（SBOs）		
1. 職域の健康管理について		
① 健康管理システムのあり方を理解し説明できる。	見・実	
② 健康診断計画に参画する。	見・実	
③ 個人の健康診断結果の判定・評価を行う。	見・実	
④ 検査項目の精度管理を説明できる。	見・実	
⑤ 集団の健康レベルの評価の方法を挙げる事が出来る。	見・実	
⑥ 事業場内外の健康管理組織、健康診断機関の活動を説明できる。	見・実	
⑦ 疾病管理について説明できる。	見・実	
2. 健康教育、健康増進について		
① 個人の疾病予防、健康保持・増進のための健康教育に参画できる。	見・実	
② 職域での保健活動に必要な医療倫理を理解し、実践できる。	見・実	
③ 職域にある健康リスクを列挙できる。	見・実	
④ 産業医学に関する情報収集の方法を実践できる。	見・実	
⑤ 健康増進活動を理解し、実践できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項

①健診の実施（問診，診察，検査）

実施した場合の評価

非実施

見学

実施

--	--

②健診結果の評価

非実施

見学

実施

--	--

③健診事後措置案の作成

非実施

見学

実施

--	--

④個人指導，集団指導

非実施

見学

実施

--	--

⑤倫理に関する概論・講義

非実施

見学

実施

--	--

⑥健康教育

非実施

見学

実施

--	--

案2-4 地域保健・医療・評価票 一産業保健一 (自己評価用)

【 事業場 】

	内容*	自 己 評 価
各職場における保健予防、管理（3管理）プログラム		
一般目標（GIO）		
1. 労働者の健康を守り、増進するために、その健康状態や職業に関連する健康影響因子について理解し、労働条件ならびに職場の実態にも配慮しつつ各種保健活動を実施する基本的な態度と能力を身に付ける。		
2. 職域を場として働く人に各種の保健活動を行うことの必要性を理解し、医療情報を総合的に判断し、働く人の心情や職場の状況なども勘案した指導を行う能力を身に付ける。		
3. 職業病・作業関連疾患に適切な対応が出来るようになるために、作業・作業環境および関連する疾患の特性を理解し、個々の状態に対応した基本的な指導法を身につける。		
到達目標（SBOs）		
1. 職域の健康管理について		
① 健康管理システムのあり方を理解し説明できる。	見・実	
② 健康診断計画に参画する。	見・実	
③ 個人の健康診断結果の評価を行い、精度管理を説明できる。	見・実	
④ 就業条件を考慮に入れた健康診断の事後措置案を作成できる。	見・実	
⑤ 集団の健康レベルの評価の方法を挙げることが出来る。	見・実	
⑥ 事業場内外の健康管理組織、健康診断機関の活動を説明できる。	見・実	
⑦ メンタルヘルスの意義と基本的技法を理解し、説明できる。	見・実	
⑧ 疾病管理と就労の配慮について説明できる。	見・実	
⑨ 労働災害、業務上疾病、労災保険について説明できる。	見・実	
⑩ 復職判定・適正配置を説明できる。	見・実	
2. 健康教育、健康増進及び総括的な管理		
① 個人の疾病予防、健康保持・増進のための健康教育に参画できる。	見・実	
② 職域での保健活動に必要な医療倫理を理解し、実践できる。	見・実	
③ 職場巡視を体験し、その意義を説明できる。	見・実	
④ 職域にある健康リスクを評価できる。	見・実	
⑤ 安全衛生委員会に参加し、衛生および安全に関して意見を述べられる。	見・実	
⑥ 産業医学に関する情報収集の方法を実践できる。	見・実	
⑦ 健康増進活動を理解し、実践できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

	内容*	自己評価
3.有害業務・安全衛生管理について		
① 就業条件、作業工程、作業内容について説明できる。	見・実	
② 有害業務を列挙し、その評価に参画する。	見・実	
③ 作業環境管理の意義を説明できる。	見・実	
④ 作業管理の意義を理解し参画する。	見・実	
⑤ 労働衛生保護具の目的と特性を説明し、装着作業を体験する。	見・実	
⑥ 職場環境と一般環境の違いを踏まえつつ、地域環境と住民の健康との関連を洞察できる。	見・実	
⑦ 災害時の救急措置を説明できる。	見・実	
⑧ 健康危機管理（採血事故・大規模災害・SARS等）の要点を説明できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項

① 職場巡視

実施した場合の評価

非実施 見学 実施

--	--

②安全衛生委員会への出席

非実施 見学 実施

--	--

③健診の実施（問診，診察，検査）

非実施 見学 実施

--	--

④健診結果の評価

非実施 見学 実施

--	--

⑤健診事後措置案の作成

非実施 見学 実施

--	--

⑥個人指導，集団指導

非実施 見学 実施

--	--

⑦健康危機管理対策マニュアルの作成

非実施 見学 実施

--	--

⑧復職判定委員会への出席

非実施 見学 実施

--	--

⑨倫理に関する概論・講義

非実施 見学 実施

--	--

⑩労働衛生教育

非実施 見学 実施

--	--

【 健診機関 】

	内容※	自己 評価
各職場における保健予防、管理（3管理）プログラム		
一般目標（GIO）		
1. 労働者の健康を守り、増進するために、その健康状態や健康影響因子について理解し、職業に関連する種々の条件を考慮しつつ各種保健活動を実施する基本的な態度と能力を身に付ける。		
2. 職域を場として働く人に各種の保健活動を行うことの必要性を理解し、医療情報を総合的に判断し、働く人の心情や職場の状況なども勘案した指導を行う能力を身に付ける。		
到達目標（SBOs）		
1. 職域の健康管理について		
① 健康管理システムのあり方を理解し説明できる。	見・実	
② 健康診断計画に参画する。	見・実	
③ 個人の健康診断結果の判定・評価を行う。	見・実	
④ 検査項目の精度管理を説明できる。	見・実	
⑤ 集団の健康レベルの評価の方法を挙げることが出来る。	見・実	
⑥ 事業場内外の健康管理組織、健康診断機関の活動を説明できる。	見・実	
⑦ 疾病管理について説明できる。	見・実	
2. 健康教育、健康増進について		
① 個人の疾病予防、健康保持・増進のための健康教育に参画できる。	見・実	
② 職域での保健活動に必要な医療倫理を理解し、実践できる。	見・実	
③ 職域にある健康リスクを列挙できる。	見・実	
④ 産業医学に関する情報収集の方法を実践できる。	見・実	
⑤ 健康増進活動を理解し、実践できる。	見・実	

※見学・聴講型なら「見」に参加・実施型なら「実」に○をつける

経験が望まれる事項

①健診の実施（問診，診察，検査）

実施した場合の評価

非実施

見学

実施

--	--

②健診結果の評価

非実施

見学

実施

--	--

③健診事後措置案の作成

非実施

見学

実施

--	--

④個人指導，集団指導

非実施

見学

実施

--	--

⑤倫理に関する概論・講義

非実施

見学

実施

--	--

⑥健康教育

非実施

見学

実施

--	--

臨床研修病院長 殿

指導体制・研修プログラム評価

研修機関名 _____
指導医氏名 _____
研修医氏名 _____

配属された研修科の指導体制・研修プログラムについてお尋ねします。

1. 研修医が指導医に指導を受けた時間は週にどれくらいですか。
主任指導医 () 時間/週 指導医 () 時間/週
指導医以外のスタッフ () 時間/週
2. 研修医の毎日の勤務時間帯の大よそについて教えてください。
出勤時間 (時 分) 退勤時間 (時 分)
3. 指導体制についての研修医の満足度を教えてください。
①満足 ②ふつう ③不満
4. 指導した研修医や研修内容について何かご意見がありましたら自由にお書きください。
5. 指導全般について、何かご意見がありましたら自由にお書きください。
6. 研修のための環境（部屋・図書・インターネットなど）について、何かご意見がありましたら自由にお書きください。
7. 研修体制、当該研修科の研修プログラムについて、気づいたことやご意見などがありましたら自由にお書きください。